

# 寄宿舎便り



令和3年4月9日発行

第1号

文責 甲斐

## 校長先生の挨拶

「寄宿舎生活を通じて、良い生活習慣を身に付けよう」

令和3年度が始まりました。年度最初の寄宿舎便りを発刊するにあたり、私から皆さんに、寄宿舎生活を通じて「良い生活習慣を身に付けよう」というテーマで原稿を書かせていただきます。

皆さんは、どうやれば、良い生活習慣を身につけることができるかご存知でしょうか。方法は様々だと思いますが、一つの例として、飛行機は空を飛び立つとき、燃料の3分の1を使ってしまふと言われていています。どういうことかと言うと、止まっている状態から、飛んでいる状態に変化する時、とても大きなエネルギーが必要になります。

実は、人間も飛び立つ飛行機と同じです。人間も、その時の状態を変化させる際、とても大きなエネルギーを必要とします。

これを挨拶の習慣に当てはめて考えると、いつも挨拶をしている人は、挨拶をすることが簡単にできてしまうということになります。しかし、時々しか挨拶しなかったり、全然挨拶しなかったりする人は、挨拶しない習慣が身につけているので、とても大きなエネルギーを消費することになります。このことから、人から、「おはよう」と声をかけられても、直ぐに「おはよう」と答えられなくなってしまうのだと思います。

朝、寄宿舎から学校へ登校する途中、先生や友達に挨拶したり、学校内で挨拶ができる人は、何のためらいもなく「おはよう」と挨拶ができます。

勉強だって同じです。いつでも勉強している人は、歩いていたり、食事をしていたり、お風呂に入っているときにも、頭の中で勉強しています。だから、勉強することに、全くの抵抗はありません。それに対して、たまに勉強する人やしない人は、椅子に座るだけで疲れてしまいます。

私は「継続すること」、それこそが、良い生活習慣を身に付ける方法だと思います。

舎生の皆さんは、寄宿舎の生活を通じて、良い生活習慣を身につける機会に満ち溢れています。このチャンスを生かし、朝、夕、夜の寄宿舎生活において感謝の気持ちを持って過ごしてってください。

1年後、皆さんの成長した姿を楽しみにしています。

校長 村山 浩之

## 寄宿舍主任の挨拶

「寄宿舍生及び保護者のみなさまへ」

いよいよ新学期がスタートしました。未だ収束の見えないコロナ禍において、4月にみんなですターが切れることに心から感謝しています。

さて、新しい生活を迎えるにあたり、私は寄宿舍生のみなさんと「距離」について考えていきたいと思ひます。新しい生活様式といへば「ソーシャルディスタンス」という言葉が浮かびますが、人との距離だけでなく心までもが遠くなったような気がして寂しく感じますね。

そんな時、近くに仲間がいればどんなに前向きになれることか。寄宿舍には、年齢は異なってもたくさんの先輩や後輩といった仲間がいます。手を洗うこと、消毒をすること、マスクを着けること、距離をとること、それらのすべては自分を守るためだけでなく、大切な仲間を守ることにもつながります。

まだしばらくは制限の中での生活になると思ひますが、大切な自分、大切な仲間を守る気持ちや行動が当たり前になった時、きっとみなさんは今まで以上の強い絆でつながっているのではないかと確信しています。

寄宿舍生のみなさん、保護者のみなさま、そして寄宿舍指導員と舎監が一丸となって、このコロナ禍を乗り切つていきましょう。

寄宿舍主任 村上 豊作

## 新、転任職員紹介

今年度、新しく1人の職員が赴任いたしました。男子棟8人、女子棟8人で新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、舎生のみなさんが毎日健康的に登校できますよう全力でサポートさせていただきます。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 4月の行事予定

- 12日(火) 誕生者紹介(夕食時)
- 13日(水) 双葉会説明・舎食×切(5月分)
- 15日(木) 舎生オリエンテーション
- 19日(月) 双葉会役員選出
- 21日(水) 避難訓練【火災】
- 22日(木) 役員会
- 26日(月) 双葉会総会、役員任命式
- 27日(火) しょうぶ湯

※個別懇談、保護者懇談(7日~25日まで)

### 『しょうぶ湯』のお知らせ

4月27(火)にしょうぶ湯を実施します。しょうぶを湯船に浮かべ、舎生みんなの無病息災を願ひたいと思ひます。つきましては、皮膚の弱い方・配慮の必要な舎生さんは職員までお知らせください。入浴の順番などを変更して対応したいと思ひておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。